

VI. 実技検査を課す課程及びプログラム・専攻等の内容について

課程及びプログラム・専攻等	該当ページ
① 初等教育教員養成課程 芸術・実技教育プログラム（音楽系科目）	20～21
② 中等教育教員養成課程 中等教育プログラム 音楽専攻	21～23
③ 初等教育教員養成課程 芸術・実技教育プログラム（美術系科目）	24
④ 中等教育教員養成課程 中等教育プログラム 美術専攻	25
⑤ 初等教育教員養成課程 芸術・実技教育プログラム（体育系科目）	26～27
⑥ 中等教育教員養成課程 中等教育プログラム 保健体育専攻	28～29
⑦ 中等教育教員養成課程 中等教育プログラム 書道専攻	30

① 初等教育教員養成課程 芸術・実技教育プログラム (音楽系科目)

【前期日程】・【学校推薦型選抜Ⅱ】

【前期日程】を受験する者は、以下に示した【Ⅰ】、【Ⅱ】、【Ⅲ】をすべて受験してください。
【学校推薦型選抜Ⅱ】を受験する者は、以下に示した【Ⅰ】、【Ⅱ】、【Ⅲ】、【Ⅳ】をすべて受験してください。

【Ⅰ】実技検査

※受験者は、2部門(①歌唱、②ピアノ)を必ず演奏してください。

①歌唱

A 小学校歌唱共通教材

以下の4曲より任意の1曲を選び、暗譜で演奏してください。

- | | | | |
|--------|-------|-------|-------------|
| ・茶つみ | 文部省唱歌 | (ト長調) | <u>2番まで</u> |
| ・まきばの朝 | 文部省唱歌 | (ハ長調) | <u>1番のみ</u> |
| ・こいのぼり | 文部省唱歌 | (ヘ長調) | <u>2番まで</u> |
| ・ふるさと | 文部省唱歌 | (ヘ長調) | <u>1番のみ</u> |

- 注 (ア) A小学校歌唱共通教材は指定された調で演奏してください。
(イ) 「音楽実技検査票」提出後の曲目等の変更は認めません。

B 歌曲

以下の歌曲より任意の1曲を選び、暗譜で演奏してください。

- | | | |
|-------------------|----------|--------|
| ・はる | 團 伊玖磨作曲 | (変ト長調) |
| ・むこうむこう | 中田 喜直作曲 | (ヘ長調) |
| ・Lasciar d'amarti | ガスパリーニ作曲 | (ヘ短調) |
| ・Vaga luna | ベッリーニ作曲 | (変イ長調) |

- 注 (ア) B歌曲を指定以外の調で演奏する者は、伴奏楽譜を「志願票兼出願確認票」とともに提出してください。提出する楽譜には志願者氏名を必ず記載してください。
(イ) 演奏は原語とします。
(ウ) 「音楽実技検査票」提出後の曲目等の変更は認めません。

②ピアノ

W.A.モーツァルト作曲の以下に指定した作品番号のピアノ・ソナタより任意の1曲を選び、その第1楽章を演奏してください。

KV280, KV283, KV309, KV330, KV332, KV457, KV545

- 注 (ア) 繰り返しはすべて省略してください。
(イ) 演奏は、暗譜でなくても構いません。
(ウ) 「音楽実技検査票」提出後の曲目等の変更は認めません。

【Ⅱ】音楽理論

楽典の筆記試験を課します。

(次ページへ続く)

【Ⅲ】面接

初等教育教員養成課程芸術・実技教育プログラム共通の面接を課します。

【Ⅳ】小論文

② 中等教育教員養成課程 中等教育プログラム 音楽専攻

【前期日程】・【学校推薦型選抜Ⅰ】

【前期日程】、【学校推薦型選抜Ⅰ】を受験する者は、以下に示した【Ⅰ】、【Ⅱ】、【Ⅲ】、【Ⅳ】をすべて受験してください。

【Ⅰ】共通音楽実技課題

※受験者は、3部門（①視唱、②声楽、③ピアノ）を必ず演奏してください。

①視唱

コールユーブンゲン第1巻、原書 No.1 ～ No.85 までの中から、当日指定したものを演奏してください。

②声楽

下記の歌曲より任意の1曲を選び、**暗譜**で演奏してください。

- | | | |
|-------------------------|-----------|--------|
| ・ Caro laccio | ガスパリーニ作曲 | (変ホ長調) |
| ・ Se tu della mia morte | スカルラッティ作曲 | (へ短調) |
| ・ Ideale | トスティ作曲 | (イ長調) |
| ・ O del mio amato ben | ドナウディ作曲 | (変イ長調) |

注 (ア) 歌曲を指定以外の調で演奏する者は、伴奏楽譜を「志願票兼出願確認票」とともに提出してください。提出する楽譜には志願者氏名を必ず記載してください。

(イ) 演奏は、原語とします。

(ウ) 「音楽実技検査票」提出後の曲目等の変更は認めません。

③ピアノ

J.S.バッハ作曲の以下に指定した作品番号より任意の1曲を選び、演奏してください。

- ・ インヴェンション BWV772 ～ BWV786 (ただし、BWV772 ハ長調、BWV773 ハ短調、BWV774 ニ長調、BWV775 ニ短調、BWV779 ヘ長調、BWV781 ト長調は除く)
- ・ シンフォニア BWV787 ～ BWV801 (ただし、BWV791 変ホ長調は除く)
- ・ 平均律クラヴィーア曲集 第1巻 BWV846 ～ BWV869 のフーガ
- ・ 平均律クラヴィーア曲集 第2巻 BWV870 ～ BWV893 のフーガ

注 (ア) 繰り返しはすべて省略してください。

(イ) 演奏は、暗譜でなくても構いません。

(ウ) 「音楽実技検査票」提出後の曲目等の変更は認めません。

(次ページへ続く)

【Ⅱ】選択音楽実技課題

※下の1. から4. までの4種類の受験方法の中から一つを選択して受験してください。

1. ピアノで受験する者

ベートーヴェン作曲ピアノ・ソナタより任意の1曲を選び、その第1楽章又は終楽章を演奏してください。ただし、Op.26, Op.27-1, Op.27-2 (第1楽章), Op.49-1, Op.49-2, Op.54, Op.79 は除きます。

- 注 (ア) 繰り返しはすべて省略してください。
(イ) 演奏は、暗譜でなくても構いません。
(ウ) 「音楽実技検査票」提出後の曲目等の変更は認めません。

2. 声楽で受験する者

任意の歌曲（オペラ又はオラトリオの Aria を含む）を1曲、**暗譜**で演奏してください。
ただし、【Ⅰ】共通音楽実技課題 ②声楽で課題として指定した曲を除きます。

- 注 (ア) 伴奏楽譜を「志願票兼出願確認票」とともに提出してください。
提出する楽譜には志願者氏名を必ず記載してください。
(イ) 演奏は原語とし、演奏時間は4分以内とします。
(ウ) 歌曲の調については自由ですが、オペラ又はオラトリオの Aria については、**原調**で演奏してください。
(エ) 「音楽実技検査票」提出後の曲目等の変更は認めません。

3. 管楽器または弦楽器で受験する者

任意の1曲又は、一つの楽章を選び演奏してください。

なお、入試で選択できる楽器は以下の通りです。

フルート、オーボエ、クラリネット（標準サイズB♭管またはA管）、バスーン、ホルン、トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム、チューバ、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス

- 注 (ア) 繰り返しはすべて省略してください。
(イ) 試験の際に伴奏を付けるので、伴奏楽譜を「志願票兼出願確認票」とともに提出してください。提出する楽譜には志願者氏名を必ず記載してください。無伴奏の場合は、伴奏楽譜の提出の必要はありません。
(ウ) 演奏は、暗譜でなくても構いません。
(エ) 「音楽実技検査票」提出後の曲目等の変更は認めません。

4. 作曲で受験する者

4声体による和声課題（バス課題、ソプラノ課題またはその混合課題とし、非和声音を含む程度）を1題課します。

【試験時間 120分】

(次ページへ続く)

【Ⅲ】小論文**【前期日程】**

中等教育教員養成課程共通の小論文を課します。

【学校推薦型選抜Ⅰ】

音楽教育に関する小論文を課します。

【Ⅳ】音楽理論

楽典及び音楽史・音楽理論全般について問う筆記試験を課します。

【前期日程】

【Ⅰ】実技検査

構想画を課します。(読書感想画など)

- 注**・鉛筆, 水彩絵の具, 筆, パレット, 筆洗, 雑巾を持参してください。
- ・クレヨン等の彩色用具の持参, 使用も可能です。
 - ・画架, 画板, 画紙, 画鋸は大学側で準備します。

【Ⅱ】面接

初等教育教員養成課程芸術・実技教育プログラム共通の面接を課します。

【学校推薦型選抜Ⅱ】

【Ⅰ】実技検査

鉛筆画を課します。(自画像)

- 注**・鉛筆, 消し具, 等鉛筆画に必要な用具を持参してください。
- ・鏡, 画架, 画板, 画紙, 画鋸は大学側で準備します。
 - ・はかり棒のみ使用を認めます。

【Ⅱ】小論文

【Ⅲ】面接

初等教育教員養成課程芸術・実技教育プログラム共通の面接を課します。

【前期日程】

【Ⅰ】実技検査

鉛筆画を課します。(静物)

- 注**・鉛筆，消し具，はかり棒等鉛筆画に必要な用具を持参してください。
- ・画架，画板，画紙，画鋸は大学側で準備します。
 - ・はかり棒のみ使用を認めます。

【Ⅱ】小論文

中等教育教員養成課程共通の小論文を課します。

【Ⅲ】面接

【学校推薦型選抜Ⅰ】

【Ⅰ】実技検査

鉛筆画を課します。(静物)

- 注**・鉛筆，消し具，はかり棒等鉛筆画に必要な用具を持参してください。
- ・画架，画板，画紙，画鋸は大学側で準備します。
 - ・はかり棒のみ使用を認めます。

【Ⅱ】美術理論

美術史（日本・西洋美術史及び現代までの美術）を課します。

【Ⅲ】面接

【前期日程】

【Ⅰ】実技検査

以下の1. 2. をすべて受験してください。

1. 専門種目

陸上競技, 競泳, バレーボール, バasketボール, サッカー, 硬式野球, ダンス, 柔道, 剣道

上記の中から1種目を選択しますが, 上記種目に該当する専門種目がない場合でも, 必ず上記の種目の中から1種目を選択し, 本学所定の競技歴調査書にその種目を記入し, 志願票兼出願確認票とともに必ず提出してください。競技歴調査書に記入した専門種目については, 出願後変更できません。

2. 選択種目

4つの選択種目(走り幅跳び, 柔道, 剣道, 創作ダンス)から2つの種目を選び, **マット運動と合わせて, 合計3種目を受験してください。**

ただし, 上記の「1. 専門種目」で選択した種目と同じ種目は選択できません。したがって, 種目の選択にあたっては, 下記の事項に留意してください。競技歴調査書に記入した選択種目については, 出願後変更できません。

(1) 専門種目で「陸上競技」を受験する者は, 下の表に示す種目を受験してください。

種	目
マット運動(必須)	
柔道, 剣道, 創作ダンスの中から2種目	

(2) 専門種目で「競泳, バレーボール, バasketボール, サッカー, 硬式野球」のいずれかを受験する者は, 下の表に示す種目を受験してください。

種	目
マット運動(必須)	
走り幅跳び, 柔道, 剣道, 創作ダンスの中から2種目	

(3) 専門種目で「ダンス, 柔道, 剣道」のいずれかを受験する者は, 下の表に示す種目のうち, **専門種目以外の種目**を受験してください。

種	目
マット運動(必須)	
走り幅跳び, 柔道, 剣道, 創作ダンスの中から2種目	

※専門種目で「ダンス」を受験する者は, 選択種目で「創作ダンス」は選択できません。

※専門種目で「柔道」を受験する者は, 選択種目で「柔道」は選択できません。

※専門種目で「剣道」を受験する者は, 選択種目で「剣道」は選択できません。

注次ページの「◎実技検査受験上の注意」も必ず読んでください。

【Ⅱ】面接

初等教育教員養成課程芸術・実技教育プログラム共通の面接を課します。

【 学校推薦型選抜Ⅱ 】

【Ⅰ】実技検査

【特技種目】

陸上競技, バレーボール, バスケットボール, サッカー, 硬式野球, ダンス, 柔道, 剣道

上記の種目の中から1種目を選択し, その競技歴を本学所定の競技歴調査書に記入し, 志願票兼出願確認票等とともに必ず提出してください。競技歴調査書に記入した特技種目については, 出願後変更できません。

★「競技歴調査書」には, 受験者本人の競技大会及び試合への出場や成績を客観的に証明できる資料(例として, 新聞・雑誌記事に本人の氏名や写真のあるもの, 大会・試合・競技会記録に本人の競技成績や出場した記録が記載されているもの, あるいは当該競技主催団体が公印にて受験者本人の出場や成績を証明している文書)を添付することもできます。

新聞記事, 写真等の添付資料(※)は, A4版の大きさ(競技歴調査書と同じ大きさ)の用紙に切り貼り, コピー等により作成し提出してください。なお, 競技会への参加申込書や登録選手一覧などの資料は, 実際に競技したことを証明する資料にはなりません。また, 段位認定証等, 競技歴に直接関係ない資料は提出を要しません。

※新聞記事等の切り抜きやコピーを添付資料として利用される場合は, 出版元に利用方法や利用の可否を確認してください。

注)下記の「◎実技検査受験上の注意」も必ず読んでください。

【Ⅱ】小論文

【Ⅲ】面接

初等教育教員養成課程芸術・実技教育プログラム共通の面接を課します。

◎実技検査受験上の注意

(ア) 試技する際に着用するすべてのウェアの胸部と背部の両面にゼッケンとして白布(縦20cm×横30cm)を必ず縫いつけ, 約1.5cm幅の黒字で受験番号の下3桁をできる限り大きな文字で記入してください。

記入の仕方: △○には受験番号下3ケタを書いてください。

初等教育教員養成課程芸術・実技プログラム(体育系科目)・・・「初芸体△△△」

中等教育教員養成課程中等教育プログラム保健体育専攻・・・「中体○○○」

ただし, 次の場合は注意してください。

- ・柔道の場合は, 背部のみに縫いつけてください。
- ・剣道の場合は, 袋状のゼッケンを作成し, タレの前面にかぶせるようにしてください。
- ・競泳, ダンスの場合は, 何も縫いつけなくて構いません。

(イ) 専門種目及び特技種目で使用するウェア, シューズ(野球及び陸上競技のスパイクを含む), 剣道具, 竹刀, 槍, スイミングキャップ, バット(金属可), グローブ等の個人用具は, すべて各自持参してください。

ダンスで専門種目及び特技種目を受験する者は, 自由なテーマに基づく創作作品(2分以上2分30秒以内)を用意し, 音楽については, CD又はUSBメモリを各自用意してください。(ただし, 無音も可。)

なお, 作品用衣装がある場合は, 着用して演技してください。また, CDについては, パソコンを除く一般の音楽再生機器(CDプレーヤー等)で再生できることを確認のうえ, 持参してください。

(CDが再生できない場合は, 無音での実技となります。)

(ウ) 選択種目で使用するウェア(選択種目の「柔道」における柔道衣を含む), シューズは, 各自持参してください。

なお, 選択種目の「剣道」で使用する防具, 竹刀等は, 大学で用意しますが, 自己のものを使用しても構いません。

(エ) 体育館シューズと屋外用シューズを持参してください。

以上のようなことが守られていなければ試技ができないこともあります。

【前期日程】

【Ⅰ】実技検査

以下の1. 2. をすべて受験してください。

1. 専門種目

陸上競技, 競泳, バレーボール, バasketボール, サッカー, 硬式野球, ダンス, 柔道, 剣道

上記の中から1種目を選択しますが, 上記種目に該当する専門種目がない場合でも, 必ず上記の種目の中から1種目を選択し, 本学所定の競技歴調査書にその種目を記入し, 志願票兼出願確認票とともに必ず提出してください。競技歴調査書に記入した専門種目については, 出願後変更できません。

2. 選択種目

4つの選択種目(走り幅跳び, 柔道, 剣道, 創作ダンス)から2つの種目を選び, **マット運動と合わせて, 合計3種目を受験してください。**

ただし, 上記の「1. 専門種目」で選択した種目と同じ種目は選択できません。したがって, 種目の選択にあたっては, 下記の事項に留意してください。競技歴調査書に記入した選択種目については, 出願後変更できません。

(1) 専門種目で「陸上競技」を受験する者は, 下の表に示す種目を受験してください。

種	目
マット運動 (必須)	
柔道, 剣道, 創作ダンスの中から2種目	

(2) 専門種目で「競泳, バレーボール, バasketボール, サッカー, 硬式野球」のいずれかを受験する者は, 下の表に示す種目を受験してください。

種	目
マット運動 (必須)	
走り幅跳び, 柔道, 剣道, 創作ダンスの中から2種目	

(3) 専門種目で「ダンス, 柔道, 剣道」のいずれかを受験する者は, 下の表に示す種目のうち, **専門種目以外の種目**を受験してください。

種	目
マット運動 (必須)	
走り幅跳び, 柔道, 剣道, 創作ダンスの中から2種目	

※専門種目で「ダンス」を受験する者は, 選択種目で「創作ダンス」は選択できません。

※専門種目で「柔道」を受験する者は, 選択種目で「柔道」は選択できません。

※専門種目で「剣道」を受験する者は, 選択種目で「剣道」は選択できません。

注次ページの「◎実技検査受験上の注意」も必ず読んでください。

【Ⅱ】小論文

中等教育教員養成課程共通の小論文を課します。

【 学校推薦型選抜Ⅰ 】

【Ⅰ】実技検査

【特技種目】

陸上競技，バレーボール，硬式野球，ダンス，柔道，剣道

上記の種目の中から1種目を選択し，その競技歴を本学所定の競技歴調査書に記入し，志願票兼出願確認票等とともに必ず提出してください。競技歴調査書に記入した特技種目については，出願後変更できません。

★「競技歴調査書」には，受験者本人の競技大会及び試合への出場や成績を客観的に証明できる資料（例として，新聞・雑誌記事に本人の氏名や写真のあるもの，大会・試合・競技会記録に本人の競技成績や出場した記録が記載されているもの，あるいは当該競技主催団体が公印にて受験者本人の出場や成績を証明している文書）を添付することが必要です。

新聞記事，写真等の添付資料（※）は，A4版の大きさ（競技歴調査書と同じ大きさ）の用紙に切り貼り，コピー等により作成し提出してください。なお，競技会への参加申込書や登録選手一覧などの資料は，実際に競技したことを証明する資料にはなりません。また，段位認定証等，競技歴に直接関係ない資料は提出を要しません。

※新聞記事等の切り抜きやコピーを添付資料として利用される場合は，出版元に利用方法や利用の可否を確認してください。

注 下記の「◎実技検査受験上の注意」も必ず読んでください。

【Ⅱ】小論文

【Ⅲ】面接（口頭試問を含む。）

◎実技検査受験上の注意

(ア) 試技する際に着用するすべてのウェアの胸部と背部の両面にゼッケンとして白布（縦20cm×横30cm）を必ず縫いつけ，約1.5cm幅の黒字で受験番号の下3桁をできる限り大きな文字で記入してください。

記入の仕方：△○には受験番号下3ケタを書いてください。

初等教育教員養成課程芸術・実技プログラム（体育系科目）・・・「初芸体△△△」

中等教育教員養成課程中等教育プログラム保健体育専攻・・・「中体○○○」

ただし，次の場合は注意してください。

- ・柔道の場合は，背部のみに縫いつけてください。
- ・剣道の場合は，袋状のゼッケンを作成し，タレの前面にかぶせるようにしてください。
- ・競泳，ダンスの場合は，何も縫いつけなくて構いません。

(イ) 専門種目及び特技種目で使用するウェア，シューズ（野球及び陸上競技のスパイクを含む），剣道具，竹刀，槍，スイミングキャップ，バット（金属可），グローブ等の個人用具は，すべて各自持参してください。

ダンスで専門種目及び特技種目を受験する者は，自由なテーマに基づく創作作品（2分以上2分30秒以内）を用意し，音楽については，CD又はUSBメモリを各自用意してください。（ただし，無音も可。）

なお，作品用衣装がある場合は，着用して演技してください。また，CDについては，パソコンを除く一般の音楽再生機器（CDプレーヤー等）で再生できることを確認のうえ，持参してください。

（CDが再生できない場合は，無音での実技となります。）

(ウ) 選択種目で使用するウェア（選択種目の「柔道」における柔道衣を含む），シューズは，各自持参してください。

なお，選択種目の「剣道」で使用する防具，竹刀等は，大学で用意しますが，自己のものを使用しても構いません。

(エ) 体育館シューズと屋外用シューズを持参してください。

以上のようなことが守られていなければ試技ができないこともあります。

【前期日程】

【Ⅰ】実技検査

以下の1. 2. をすべて受験してください。

1. 臨書課題

用紙は画仙紙半切，半紙等を使用します。

2. 創作課題

用紙は画仙紙全紙とします。

(自由に切って表現しても構いません。

ただし，全紙1/4より大きい作品にしてください。)

注 (ア) 筆，墨，硯，下敷，文鎮，ペーパーナイフなど揮毫上必要な用具を持参してください。用紙は当日配布します。また，持参した用紙は，使用できません。

(イ) 罫線が印刷された下敷は使用できません。

(ウ) 以下の条件をすべて満たす書籍に限り，字典の持ち込みを認めます。

①書籍販売されていること。

②古典作品を集字したもの。

③五書体全てを含んでいるもの。

④特定の人物の書を集字したものでないこと。(例 趙之謙字典，王鐸字典など)

【Ⅱ】小論文

中等教育教員養成課程共通の小論文を課します。

【Ⅲ】面接

【学校推薦型選抜Ⅰ】

【Ⅰ】実技検査

以下の1. 2. をすべて受験してください。

1. 臨書課題

用紙は画仙紙半切，半紙等を使用します。

2. 創作課題

用紙は画仙紙全紙とします。

(自由に切って表現しても構いません。

ただし，全紙1/4より大きい作品にしてください。)

注 (ア) 筆，墨，硯，下敷，文鎮，ペーパーナイフなど揮毫上必要な用具を持参してください。用紙は当日配布します。また，持参した用紙は，使用できません。

(イ) 罫線が印刷された下敷は使用できません。

(ウ) 以下の条件をすべて満たす書籍に限り，字典の持ち込みを認めます。

①書籍販売されていること。

②古典作品を集字したもの。

③五書体全てを含んでいるもの。

④特定の人物の書を集字したものでないこと。(例 趙之謙字典，王鐸字典など)

【Ⅱ】小論文

書道及び書道教育に関する小論文を課します。

【Ⅲ】面接(口頭試問を含む。)